北平に移轉せん

名稱も華北と改め

ハルビン特別サ四日登 上野イツ公使解修設氏はモスクワで変全ツ公使解修設氏はモスクワで変全ツ公使解修設氏はモスクワで変全ツ公使解修設氏はモスクワで変全ツ公使解修設正式会議にも緩な

將蚌獨公使歸國

成していまでの東北政務委員會又で海の連続から総議、察哈爾、山

一葉北」と映め各種機關も新北平 一葉成中であるが歌山会都の北平 一葉成中であるが歌山会都の北平 一葉成中であるが歌山会都の北平 ででであるが歌山会社の北平 でであるが歌山会社の北平 でであるが歌山会社の北平 でであるが歌山会社の北平 でであるが歌山会社の北平 でできるが歌山会社の北平 でできるが歌山会社の北平 でできるが歌山会社の北平 でできるが歌山会社の北平 でできるが歌山会社の北平 でできるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社の北平 でいるが歌山会社のない。

要での高く計つ各省ともに財政服態で を関い、本年度の如く親安で材料購入

関東京特電二十四日襲 は察哈爾の名稱を取消し郷郷書き といる。

殺職支線と呼海線の收入機械で果

朔寧省ご改稱

日露互に歩み寄

四五日中に解決か

漁業交渉東京に移る

銀安で資金を得難く

の悪い時に新鐵消開設に全然収み

露支交渉の

不年11望みが無い

鐵道計畫

局長が吉敦線方面の観察をに取沙汰されて困つた、實に主長線から敦化に行つ共に吉長は一番の場の問題のは吉長さ一番の場の問題のは一方の場合に行った。

は假に準備は整つ交渉は中國側とし ゐるので木村理事



# 曾議の準備は充分整つてゐる

吉長鐵路局長 を開いても差支へなら通告あり次第會議 郭續潤氏談

 簡率の等であるが、自分等は中
 局長も會議の期日が決定すれば
 程度の用意はある、高紀毅 《上海二十四日餐』治外法權旅廠 一十三日午後八時三十分南京におい 十三日午後八時三十分南京におい 大阪者の間に調取された すべきである、私のロシア印象 けてぬるが建設精神の旺盛なこさは中國の大に研究も以て範ささは中國の大に研究も以て範さ

和支治廢新協定 も亦非常に可い

きのふ南京にて調印

本に中國法、の下に置かれる本本に中國法、の下に置かれる本本に中國法、大津、漢は等道圏港六個所に夫々特別注廷を設置と中和所に夫々特別注廷を設置と中和所に夫々特別注意を設置している。

和支協定內容

廣田大使に

くもの大の内内の内内 に断し二十三日午後の外根・トローニ日午後の外根・トローニ日午後七時在モスグワ廣山大使 た

信濃丸出帆を

大平滿鐵副總裁談

自分の手許に達した確

際も話った通りその後ますく

◆一売頭オン・ペレードミか、石製・水で海 ミか、石製・水で海 ミか、石製・水で海 ・暗くなつた世間を 0

弊院外相の召電上談と静頼して動光代理公使は二十四日午前九時・京崎潜人京した

◆: 一様に心配するな、 をよさいひますが、便の研究によるとソレは確に風理を察つたも のださいふこさが立識される。 のださいふこさが立識される。 のださいふこさが立識される。

本、東文学徳は相い進歩してあると思ふる、東文学徳は相い進歩してあると思ふる、英文学徳は相い進歩してあると思ふる、英文学徳は相い進歩して高り様に初せて検討し支那の合理的主派は充分開からには判したり同じを開催されることになっしてフ那は底力ある強いで支那は底力ある強いです。 南京における学徳氏 (本) は (本)

既近き徳惠姫

0

を なる、これが 職がた、これが職

さいふこうな宮城で辞明して をます、支那人が豚・麻繆する で美味いさいふのも、この郷に で美味いさいふのも、この郷に で美味いさいふのも、この郷に でせる、たら奥は四十歳に動ん 職命でか、住人職等とかさいふ …緊ਆの凝しい人は頭腦が明確したことだと思びます

其 管 枝 園

重り

オナーク・ガンストラ・レ

こして既聚まだ報か加へないが お問題にまで風靡: 法! 暖信に野 を要なら、いつでし無格性で懸じ を要なら、いつでし無格性で懸じ るのだがなっ

ってると なった。を頼りに解べられた雌花 恢復で、皮肉な老人病親主で人を喰さん。世間の噂をよそにドンく

著音器株式會社

職に、

を突つ込む、お魚の甘味があどは 政友外調お魚の問題で外突軟線 れなかったからだ。 蛇角

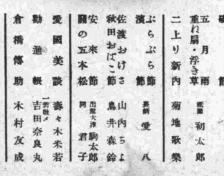
重光さんは決して常軌を逸せの あつたのだなあ。 道化役者の夜曲 類末 を亘る風 の変明 マザーグース物語 カラインの黄金 ・ヤイコフスキー曲) 物質 (アラームス曲)

交響管被闘弾 交 君 者 故 m











生活苦 女流藝術家の

り 同概者である 石原博士 立地に でで、一大阪の原阿佐緒の家」 さいふ酒 「一大阪の原阿佐緒の家」 さいふ酒 はな数等屋橋の近くて終憾して 酒場サイセリヤな経験し、八一 國政史部

の背景をならてあるやうに感じ

れば、ごうやら生活般が

支那內地 してゐたが、その後心によるアアアす」と、 目下陽春の候に微刺さ

東京へ歸つて來るさ東郷常見氏大阪の酒場「日輪」なごへ一種の大阪の酒場「日輪」なごへ一種の

外國無電取扱 本機解決のため努力する。

まだ相當の間隙あり 交渉の

シア側も幾分譲步

一大重點

合せ風館でロシア側の回答へ待つ

仙石總裁快癒し

見合す 辭任理由は消滅 木村理事は廿五六日頃歸任

によるである。 である、従って今日まで傳へられた山石總裁の幹職就なるものは病氣以外何等の理由はないのであるから病氣さへ快くならるであるから病氣さへ快くならるれば鮮職の理由は全く消滅した。

て出帆の命令を乗へて 四日午後六時送信濃丸

プル換算率を三十四個特まで誤一府の意味を本國政府に取次がれた。 安協 案を 示し即時日本政

仕後二

提示士

する

治廢對案

滿洲問題は木村理事ご打合は

けさ入京の

漫丸を瞬間から小椒へ無航 官から二十三日直に日番漁場を開館から二十三日年後三時中

に行はれたから端社別々豫定通 で行は東京における関係方面さ しては東京における関係方面さ しては東京における関係方面さ では東京における関係方面さ

滿鐵々道部では二十四日午前十時

鐵道事務打合

立たの天津のは、ベルギーが役に体性で成立と、ベルギーが役に

0

パデレフ

クライスラー

ので同様の事情。

歌劇ルチアの社会

ポリンス

今:アドッナリンの出來を直接原 から年中費つた、買ったで苦燥 する根場師に は中窓で暖が弱 する根場師に は中窓で暖が弱 する根場師に は中窓で暖が弱 でする根場師に は中窓で暖が弱 でする根場所に は中窓で暖が弱

代をやらうと思って野転乗のアーアな脳味噌いとはり売頭

であるにしても、私見を以ばいのであるうか?、立ち入つたいのであるうか?、立ち入つたいのであるうか?、立ち入つたいのである。 (たさへだがが解格であらうさ 場女なごさいふ身の上に好んで

日支

・
民に略
に
決つ
たか
ら
木
村
君
師

ゆきかへり音が子か伴れて旅寝ときこさなる られるここも生活難さいふここの阿佐緖氏の獣なごから感涙しきここなる なるやうでもある。
だがこの人家の生活を左傾派だがこの人家の生活を左傾派があり「アルジョア意識」があり「アルジョア意識」があり「アルジョア意識」があり「アルジョア意識」があり「アルジョア意識」がありて渡るとして行く階級の自豪はよるためには過去にあった対流するためには過去にあった対流するからうことを思いるらうことを思いるらうことを思いるとうとを思いるというであらうことを思いるというであらうことを思いるというによっているというである。 意気は有限婦人などには見られているらうと活用しやうさする

をいさいふ感情から然ういふ酒 は何かしら難やかな環境の中に は何かしら難やかな環境の中に は何かしら難やかな環境の中に は何かしら難やかな環境の中に 本 東ましい。けつきよくこの人 をは たでかが、 を聴せる者を味けってゐる人 をはこれない。けつきよくこの人 をはこれない。けつきよくこの人

東に事態は依然さして緊張味を帯で 要するもので観測され減期が設さ 要するもので観測され減期が設さ でするもので観測され減期が設さ でするもので観測をおり、最後の で、ヤノフスキー氏會見の内容を詳細に、 はに對する帝國政府の對策を記し機 日本順に感意ある旨を傷へ速かに、 本性解決方に努力すべン氏と會見を遂げ 本性解決方に努力するをうり順電も た本性解決方に努力するをうり順電も 外務省に一任 

領事招待宴

を警察をから提出した院職協力 を警察をから提出した院職協力 を警察をから提出した院職協力 一へ外別々務制度の改善 一へ外別々務制度の改善 一、外別々務制度の改善 一、別事講客會開催 七、別事講客會開催 七、別事講客會開催 七、別事講客會開催 

時大連藩外著の豫定

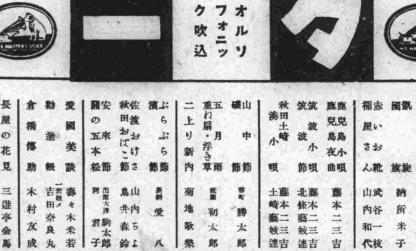
▲ 棚井學氏(選 局長) 二十四日 出帆はるびん丸にて内地へ 土城信氏(高等法院長) 同上 全族廃止東氏(高等法院長) 同上 本京入哲三氏(高洲公論副紅長) 同上 ▲村上中佐へ濱松飛行第七聯隊)来連中の處廿四日朝飛行機で出餐 連中の處廿四日朝飛行機で出餐 十三日晩奉芳より、連



三遊亭金馬







フォニッソ 修道尼等は新る の年 増り チョコレー 大江戸 夜 節 カクレレの チョコレート兵隊 0 四家文子 オーケスト 海軍軍樂隊 藤本二三吉 德山 松島庄三郎 信子

 滋園、 交通協會 設立を期待 警察署長會議の收穫 社を同時に支那側で打合せ同時





四世發 五 賣日月

滿洲里

連絡飛行

動便物は常分監地より小西は飛行機 にて輸送するこ

第卅八聯隊

四月廿五日日廿九日日五日間

ける歸還

春

福海丸で

飛行の管理動は節不明であるが、 14つた 機は二十七日歌楽の等、 虚型連邦 に同艦を陸駆し戦助のため現場 では、 第二 名り嚢が纏めためて驅逐艦栗に埋

前十時から開廷する 下止し次回續行するこ 人験し其成行を注目さ 果然辯護士團との間に ることに決定した、次回公判は來る六月廿一目されて居たが、午後一時再開の結果直に岡檢察官より公判中止を申請し辯護人團が 大論戦を展

るい評価でい

春季競馬

紙幣を輸

けふ奉天丸で歸るどころを

發見して嚴重に說論

限を執らず

映畵口

かにこれ等の

時に前記率並に同人同代者所謂経の音中のさころ廿四日奉天城の出戦を振れかつた事が制明、行方な調整

考問に頗る疑問さる れた通過せらめたが、その後手綴りにれより來って何れ 規の手織きを終たものと推定しこ 頭田北浦に流れ込んで べられたが、當時間被係りでは正 頭田北浦に流れ込んで べられたが、當時間被係りでは正 頭時 と しんこと 関邦係 見の手により取割 三

池内檢察官が取調べ عد 通銀行真空電子 奉天 に向け持ち込まんさ

つて輸入の系統

数価約五十萬那在中を持出 に送るものであらうと された、響天丸が廿二日入 た手線料を執る事になってゐるが これを履行しなかったものである ・遞信局長と **屋法院長東上** 

四氏及び同願《書課賦中村廣貫氏な旅順から大連地方決院檢察局へ低於出頭の形式 ち大連地方決院檢察局へ低於出頭の形式 で召喚と第一號取調室において離離側 の事務一般に主管してゐた關係上、這能の事務一般に主管してゐた關係上、這 

帰って くるつもりだ、 に居る間に決めて一緒に

り締つてくる。 多く語らなかつた

かてゐない

氏し赤壁したが

でれる司法官會議

號四十七百九千八第

(日曜土)

日

同処財殿下には二十三日ダビラ

部にはない。

概な就職人は松内、「で森木敷残長け物」公明開起と同時に相」正に就き説問なす

正に就き課職なすこころあり次い 一正に就き課職なすこころあり次い

辯護人は確信し反駁

令原議収蔵に関する眞相は剛氏の取調によって自日の下に懸け出さ

森氏の證言に

より

谷名被告に對する陳述の訂一

もなつて春の滿魚色を演奏して端午の節句が近づくれた春の大空にへんほんさ殿へる鯉橋け機の前奏曲

味するものご見られ、成できた法 にここけ 懸令懸造事性の進版を意 間極察官が突如公判中止な申請も

愈よ廳令變造重大化

も波及か

高松宮兩殿下

ボストン御滯在

證言に疑問

滴

て機然重大化とならく謎のうちに東殿投手が森鯰が氏の融言によっ 東殿投手が森鯰が氏の融言によっ

に 反駁な加へて中心

地内機繁官は廿四日

後一時中、關東縣衛生課技师黑

介面正

後に

台

消防手が生不動

自宅に運ぶ途中煙草で

遅へる 火

一人が文句を旨つても駄目

塚本關東長官語る

てぬるやうで 英の中の一人が今になってそれ に対を押して居るのであって、 に対を押して居るのであって、 に対を押して居るのであって、 に対を押して居るのであって、 に対を押して居るのであって、 に対を押して居るのであって、

天氣豫報 睛一時曇

十、四十一、四十四の三世出跡。 京十八熊機捜査のため二十三日石 六十八熊機捜査のため二十三日石 大十八熊機捜査のため二十三日石 最二十三日

機上から發見

**昆**麽…. 配達開始 曹 焼 曹 燒賣戰線異狀有

\_

皆さん御存じですか

日割決る

大連整馬小樂部の春季競馬會は左 が記日割に依り(雨天騒迹)程ケ浦 を開場に然で開催い筈 英國二勝す デ盃歐洲戦

を 第一日シングルスは二十三日午後 一日シングルスは二十三日午後 『ブリマス二十三日後』 ア派歐洲

けふのはるびん丸で

ボルト氏墜死 ークニナ

のもみのな全安て

海軍水上機

行方不明

歸還飛行中に

SHIEAU ACADHIEN SHAMISEN SHAMISEN SHIMASHIP SHI 初夏向ショール
対域、友神、描繪、無地、
一般にジョウゼット地の新売行品
をいいますが、自、黒、陳、鼠 流行パラソル ウゼットウール二重張 友禪、描繪、浮地技糧、裂継加工大型で淺目の二重張が全盛 レーヨン明珀、本絹フラットジョー

OCENT ----

リーン、小豆、白、黒の一、白菜、木、白菜、青椒、納戸、レモン、白菜、木、二圓三○

趣味の繪日傘

描繪、二重張裏畫

濃グリーン、レモン、青磁•納戸、水岩葉、オレンジ、小豆、白茶、白、黒

味の良い事はヨニナシ

特に目立つのは花見のお辨當です他處の追從は斷じて許しません、で必ず見て下さい何處までも飛行式に配達を致します まー 僅か十錢の辨當で(七品付 にして包裝はトラモ優美)一度召し上つて時代の尖端を行く辨當専門店の出來た事を 千成屋へ 電話も味の良い事は又と四二七四番で電話迄も保證して居ります Ξ

大廉賣 <del>发</del>速 川町 内履畅 五七一八

絹張日傘 1

電局四四〇五・七三二〇番

奉仕

棋戰等

土居八段講評 ▲飯塚君け ・ では寝かな指し振りである たのは寝かな指し振りである。 に對抗の意味で五七銀と繰り出り に對抗の意味で五七銀と繰り出り に對抗の意味で五七銀と繰り出り に對抗の意味で五七銀と繰り出り に對抗の意味で五七銀と繰り出り に對抗の意味で五七銀と繰り出り に対抗の意味で五七銀と

月四年六和昭 五

も無理ではない。なるべく

「むかしの男からしれんて、ごう 野太夫さもあらうものが少々概ないいからなったというなって行つたせっまた つだまつて見て居れ、

廿八日夜協和會館で

奏會

(可認物便動種三第)

暗

流

STI

館

(45)

来た。

またすぐ集つ

觀流宗家觀

左近

師

行歡迎謠曲演奏大會

達介

歌舞伎座開演中の田宮真樂一座は日本から左の姫く三の替り狂き

樂三の

替

太夫の兄様だらう」

「それもあるが、その三滩大戯さ いふのがまたすばらもい手利だるほどの 歌楽山の天狗だと云はれるほどの かまいさうだ」

てやいやい

何か見てゐる。

50

楊▲貞樂集の内「花吹響」二場を松島誠二郎作「お千代さ二郎」」

俯鐵音樂會

敵を連れて

સ

春信幻奏曲

8

和風樂の

大演奏

期待される

都山師の

特別演奏會の呼び物

武田宗治郎

波順三郎 左 近

觀世友資武田宗治郎

※る二十六日

泉堀中 田堂謙 朗勇吉

仕鳥段段獨 觀島 左啓 近 次

聚類泉 觀 世 大 七 澤 武田宗治郎 世 友

邓山師が指揮し大

對官島澤 內 類世 左 近 類世 左 近 數世 左 近 大方觀世 左 近 大方觀世 左 近 提 伊東東東 東東 東東 

田

之 下 八 阪 喜 本 郎查郎

世澤 左啓 近 次

麥子學 五日

\*美術創作更紗展覧會 東京このみ 一九三一年

チ編帶じめ賣出し 新そうはれやかなのでいな 御用意に

\*\*\*\*\*\*\*\*\* 



廿四日より短期四日間 廿二日が二十六日まで 解析三十 錢。 D 活 軍手 岳。 監設督計 卸現資金 病 温泉さ花見の神神和の 横井建築事務所 東 七日頃より! 見頃は四月二 平 平 帝 畲 山山本本

美謙

構造設建 造督計築 梶 原建築事務所 大連市但馬町五二 関東廳第一級主任裝街店 振屏勇殖



 お 岩 代 81 間 和洋服類 色々 格安品 沢

100

神に繋する作者の規模を音楽化し 大、鈴木報館の描く姿楽お他の紙 大、鈴木報館の描く姿楽お他の紙 大、鈴木報館の描し流奏を自じ配報の短く五 の作題で繋の如き線されるが、変奏曲目の の作題で繋の如き線されるが、変奏曲目の が、鈴木報館の描し流奏される大合 を対して本社後送 大・鈴木報館の描し流奏される大合 を対して本社後送 を対して本社後送 を表して本社を送 を表して本社を送 を表して本社を送 を表して本社を送 を表して本社を送 を表して本社を送 を表して、変奏を を、変奏を を、変奏を を、変奏を を、変奏を を、変奏を を、変奏を を、変奏を を、変を を、

祝

目

幸设

百 七

九

込

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

本年、殊一御

德用

吉方

野野心をしたま、ですつこ二階と聞きて震戦を乗りつけて、宗

五•五 六五四八

千A第

でもれば、それ程信名だが、必多 な人には減多に離を見せないので な人には減多に離を見せないので

七八九六八七

概の根がなかこつた税前域のだに をへあるに、花下に立つて機笠のが素足に東下駄なひつかけて出るが が素足に東下駄なひつかけて出るが

平手先六段 小泉 (兼古 一二 三 四 基 六 セ ヘ 九 「関け八六同飛沁の局面」 「関け八六同飛沁の局面」

に太夫のぬかりがあるものか」 「三種大靈か?へえエ。名前だけ一

(日曜土)

日

孙代

满岗

B

悪面をしてゐるちやないか」 じつさい二人が迷惑さうなな じつさい二人が迷惑さ

昭和六年四月

如日金屬 兩日共通券金五圓 水連市東公園町 於滿鐵協和會館 於滿鐵協和會館

語曲大會番組觀世宗家左近師一行歡迎

四月廿三日41 天東亞 上海 東北県 鈴木泉三郎 大東亞 上海

巨篇

週間

座

伊東啓 巖次 る一枚御三人様

熱血糖

花見奉仕 

9五月二日まで星ヶ浦西門9五月二日まで星ヶ浦西門 ○ 二 河屋

入 和 和 和 見 小 **院醫原相** 

電話セハ六七

濟生醫院

期間 至六月廿日 自四月三日 文化 大連洋服商組合 住宅一棟

電話四五七番 男介

件食部の進出… 折詰花見辨當 お花見の時期になりました 家族會多人數の節は特に御相談に應 一品料理

レテホ泉温 番七十二話電熊

ちの態隆かか何に離りが単一際店さして にてたっだが態や機能上にもの製隆につ がなった。然らば進んでこれ。

られる誰がいへや

本織け監業者の自動を着手がおくんで其歌師に極々遠べてみたいがんで其歌師に極々遠べてみたいが

在滿小賣邦商

0

お供年の処き職民を辿けその職

進

之道

店や常雪組合などが一整物内にて 一でさめるのに黙しては一定地域の でさめるのに黙しては一定地域の できるで、共同サービス、共同配 変を配験の選述化をはかるに は現金電質を厳感させればなるに は現金電質を厳感させればなるに は現金電質を厳感させればなるに

な記様に限られるものであ

行されればならの融道さへ徹底し 明示)など、現代において監然職 の一八度時間などの 現代において監然職 の

(PS)

經營を合理化せよ

が三千衣内外で合配一萬三四千衣 松五六千衣、白裾紋五千衣、吉桃 松五六千衣、白裾紋五千衣、吉桃 松田六千衣、白裾紋五千衣、吉桃

営業者間に相當有力

上か

有する前が多く、近く時の他上されれてなったわけでなく、とつて

運賃高

ごス

1

臺灣の

像へられるが、右につき西世紀を採用せんでする意画

確定的でかられてある

、村について一曲組合

## 日 | 別間を置い

多分六月の間を置く 本月中に公布さるべ 一日からこみられる、尚監業者への人電によれば豆粕、豆油、 中に公布さるべく、實施までには一ケ月間の循門、日よりといはれ、或は十五日既と際へられ區々として定まらず、これが於め驚寒者が配月、日よりといはれ、或は十五日既と際へられ區々として定まらず、これが於め驚寒者が配月、日よりといはれ、或は十五日既と際へられ區々として定まらず、これが於め驚寒者が配月、日よりといはれ、或は十五日既と際へられ區々として定まらず、これが於め驚寒者が配月、日よりといはれ、或は十五日既と際へられ區々として定まらず、これが於め驚寒者が配月、日本のは、一人人人

#### 定額 素晴らしい開きがある 查定

#### 營業補償金查定十四萬圓說出 組の間さしては日支人間の足遊揃 はす、場外に走るが遅き 結局此邊で落付く に過ぎない づ

無局…然局の都定額で減付くものに、既倫服。翌年るにもても大勢上、 ここので、 医令相當為熱 貸金營業者 五年度末現在 民政署調查

妄擧を

会が機能を表して伸び響み 金分換物養行説を案じて伸び響み 金分換物養行説を案じて伸び響み のですることの中央銀行の

巧妙な思ひつき

實施しても影響なし

《西正金大連支店長談》

展り、昭和三年度に於て五百三十 一度六千八百五十枚、昭和四年度 に於ては一職七百三十一萬八千八 では一職七百三十一萬八千八 では一職七百三十一萬八千八 では一職七百三十一萬八千八 では一職七百三十一萬八千八 では一間七百三十一萬八千八 では一間七百三十一萬八千八 では一間七百三十一萬八千八 では一間七百三十一 需要増加 で飛鞭谷地に悉く驚膝緊察維管衛 で飛鞭谷地に悉く驚膝緊察維管衛 、旅艇は同市全部 は同際察署管内、旅艇は同市全部 次で同月旅順會中組合の設立あ

**砂票** 釘れ

滿 鐵 株(保合)

二十五川十段

阪

岸にして、その貸出高は日本人警 五百四十二圓に塗してゐる 査によれば貸金燃業者標戶駅五十 七千二百六十圓、小洋十七七十七十二百六十圓、小洋十七七十七十三十十二十十二十二十三十二十二十三十二十二十二 金兌換券發行は 一千六十三萬六千六

> 賣氣配勝 けさの鈔票

金兌換發行説で

房業及一日の可給製造高は次の処支那當局の調査によれば北滿の池 北滿油房業 豆粕製造高

た理事長さし木殿内に事物所を置いた金融組合は、四和四年九月滿州 大金融組合は、四和四年九月滿州 大金融組合は、四和四年九月滿州 主職合會の事務を掌つてゐるが、 電音「數二十、會員同數にてこの 職性感謝の都市金融組合も全部成 でに帰した、即ち昭和三年九月



◆…さころが事質は も一致せず昨年例: 高い人がない。 の電体では関係が、

五品(新豆品) 新豆品 新豆品 新豆品 新豆品 新豆品 新豆品 新田田 二二二二二二二二二二二二三二 限 三二先

h そく 德 **廖 松 尾**紅』 眼 電話九四十

事務所に引移るそうだが、それ事務所に引移るそうだが、それ 大倉ビル三階に新設した ある日の三騎市太郎氏 東大會社々長、元市會議員の東リ 虹のやうな大領閣が歴草の歴り 大等々……誇々の十歳でいつも

造で失敬する『寫』の 施切り時間に遅れ を埋めればならな



見送る ・対票は一向に冴えず鈍狀なるさ ・対票は一向に冴えず鈍狀なるさ ・数票は一向に冴えず鈍狀なるさ ・数票は一向に冴えず純素なると ・数票は一向に冴えず純素なると

糸引安

形交換(廿四日) (景枚 「杏二、杏二、杏二

既に四百 萬枚九越 えてる 五五八、八九〇 五二二十二 三二一十二 月月月月 四 〇七七九七

四年十 月 月

如言至は

営市弱保合 式

一十十七五三現 二

一九八四九日上

棉

金融組合の現勢

組合二十をかぞへて

七千四百餘人を

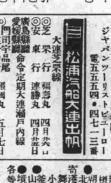
北濱南場舎に大株六十銭安大新十北濱南場舎に大株六十銭安十十銭高離が二十銭安計十銭高新豆も五品に寄りが上村銭を東京短期の東新に十銭安計十銭高新豆もままで常市も鉱東湾の場面を呈地安を入れて七十銭安御第一十銭安加。

豆 柏 二〇四〇 二〇五〇 出來高 二萬五甲 出來高 一萬五千枚 豆 油 一六〇〇 一六二〇 出來高 七千箱 出來高 七千箱 出來高 六軍 也來高 六軍 也來高 二四四〇 出來高 二四四〇 出來高 四軍

式

五 東東銘 東 新株柄 東 法中當 京 東郵日鐘鐘大大銘 新船糖新紡新株柄大 新船糖新紡新株柄大 阪 ラチル 月月月月月月 前場特殊

\* 米 



11日本郵船出駅

取扱所 九 二 商專編客術 九 二 商

株式出來高(二十三口) 本 早受渡手形 一 二 三 八 三 〇 〇 國 物(甲部)物(甲部) スラ大

取引、流位线) 1八四 二元金 1八四 二元金

中 度 麻 **埃** 青筋直積 二大僧比二分一 青筋直積 二大僧比二分一 天天天元生

况(井四日)

出來高 類 置量 期近 電景

大

花 後長上はば香う門大 河三隆海ばない港る。 新上出機器人る。

大阪商船株式大連支店 電話四一三七番電話四一三七番電話四一三七番電話四一三七番電話四一三七番電話大連支店

田前――何島近し迅速に何届け致します かば焼ー人前ー園二十録 うなぎ丼ー人前 ー 園二十録 ・ 一人前 ー 園二十録 なぎ料理 治療 醫院



職職を負責において登表した恋女 前期首城における行政整理第三國

志立鐵次郎氏の

行政整理案

| 國民の負擔を九億程度に省、局、課の廢合を斷行し

競大郎氏の行政整理統一に関する で等案情子は左の如くである 吹音を防止し政務

資擔なその所得の一割たる大體九 資擔なその所得の一割たる大體九

れた要するに現在國民の總所得

における自治制な廢止し町村現在の軍隊を十個師團さする府

政務の種別

会日の鎌賀は十六億九百萬個であるからこれを九億二千萬個位さして府縣の豫第四億八千萬國位さして府縣の豫第四億八千萬國位さして府縣の豫第十二億

近く開館する北平圖書館

百三十一坪餘、烟千五百十一萬六十四坪餘、田六十九萬八千九

大連及び旅職の市街宅

鐵道交渉に關し

重要打合セ

木村理事、重光代理公使會見

これを他石浦鰕線駅に報告したく サ五日夜東京縣養特急にて降連の

の全計官を設置の では の承認を得るま の承認を得るま

数項の流用は大藏大臣

以下關係嚴長聚集、動光代理公使 を日本 贈の其體を修成につき課紙報 を治外法権突後終率につき詳紙報 を は 動き は 動き は 動き は しゅう は しゃる は しゅう は しゅ

重光代理公使中心に

打合せたなし

管視蹠か廃止し東京府に關せ

一例さしては從來外務省、

間の法職新協定につき我外務省は『東京二十四日發』オランダ支那 外務省の見解

たの如く見てぬる まランダの治外法権散膨に依り を岡に影響も法権交渉の途上に がける其の態度を變更するこは がける其の態度を變更すること がける其の態度を必要でいるとした。

對策を協議

縣發信州當士見別莊に赴き當分課總裁(二十四日年前十時半飯田櫃) さになったが、 車中左の

では、 では、 では、 では、 では、 では、 でいたが、 でいが、 でいがが、 でいが、 でいが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいががが

關東廳の財産は

一億四千餘萬圓

大部分は官有土地

一八坪、撫順七千六 一今日では最早端さ死女に等しい谷、千百五十二坪、鰕 がその中には衝撃な通腹魈にして がその中には衝撃な通腹魈にして がその中には衝撃な通腹魈にして がその中には衝撃な通腹魈にして がその中には衝撃な通腹魈にして 類纂編纂

の現狀を見るさ官有各地目機能機が起く官有土地の機下を行つてるが全最近の総計に依る官有土地の機下を行ってる

一億八千七百五十萬三千五

人は無事

牧師も近く釋放されん

共匪が拉致した

百十一四餘で これに次ぐは爆地、驟田、無極地 は左の城くで林野が大部分か占め は左の城くで林野が大部分か占め

愛され然も各國が最悪國條代を英米が解決せば日本は最後に取

滿鐵新規程

外銀支店の 新規開設不許可

海為替情報

ルーエイト四日数 オランダ、ノーバッ、特に日本雌に軍大祭戦を戦かした ルさしてゐる、オランダ公使オールさしてゐる、オランダ公使オールをしてゐる、オランダ公使オートルをしてゐる。

各國の態度

ト かで排日不覧同職等の手段を以て がで排日不覧同職等の手段を以て を以て 大 かで排日不覧同職等の手段を以て

=

月

和諾兩國の

調印

通性を必要さするここは政治の 変は今更云ふまでもないが、そ 数は今更云ふまでもないが、そ

一き、法の精神といふものは 一度罪惡の豪生せられたる場合 一度罪惡の豪生せられたる場合

合から脱落されなか、或は正常・主張するものでは決してない、

繁く投げるなさ言ふのである。 確子の家に住むものは石を除り 敢て法を曲げよさ言ふのでは

見は同日中に行はれるものと歌概され結局頻繁率問題も耐者の主張

サッカに向った第 は午後六時に至り

中間驛主眼の

るが右につき心と

閣議決定事項『東京二十

閣議散會後

白川一派の無罪を

にいる。 (本海崎では含ます)洋灰、ので観測さるとに至った、館トラーに、 (本) を (本) を (本) に (本) を (本) を (本) に (本) を (本) を (本) に (本) を (本) を (本) を (本) に (本) を (本) に (本) を (本)

原東京二十四日登 四時が井次官から に繋ら信濃を出れる

過ぎ、政治の妙諦は忘却された 常局がペンプリン事件に對して 常局がペンプリン事件に對して にしきに

要は船を山に登したる如き卵でも潜行して犯さんごする不順でも潜行して犯さんごする不順でも潜行して犯さんごする不順でも潜行して犯さんごする不可決の面景を傷付けるだけに 古人は並に何らがの政治的、社会のかり犯意者に加へ、以て

115 (石油橋では含まり) 羊で、行すると共に上海で施行せる総役・石月一日から密察者は標架税を施

ので観測さるとに至った。向トラので観測さるとに転で從って転開のル

信濃丸

到着迄

に解決か

一、大阪帝大講座令制定の件中改正の件

一、官立醫科大學官制中改正の件

遼寧省統稅實施

日本は抗議する意響

差止め前に

里市にあるものごしては、か

めるかも知れない。

硝子の家から

說

「誘道體の鹽類」 ど白川事件

+

日本に重大影響する

多少譲歩しても

東京二十四日發】關議散會後若

を語つた

鐵道省實行豫算

約二千萬圓減額

現業質及その家族の慰藉歴史、中郷助成する一が特に中間小職が移にといるアラスバンド組織等を指に於けるアラスバンド組織等を指に於けるアラスバンド組織等を指に於ては既報の処く撫順、戦山等

沿線の施設

医 はより消滅計量(集部に対して大衆) を報告及び昭和五年度の事業、會計報 を報告及び昭和五年度の事業、會計報 を報告及び昭和五年度の事業、會計報 を報告及び昭和五年度の事業、會計報 を報告及び昭和五年度の事業、會計報 を報告及び昭和五年度の事業、會計報 という。 を報告を認定した。 を報告を記述した。 を報告を記述した。 を報告を記述した。 を報告を記述した。 を報告を記述した。 を記述した。 を記述した

見童の事る考慮

江木鐵相閣議に報告

意見交換

體育協會總會

解決を希望

法權交涉協定

の氣運促進

四日寮』
一、帝大及びその學務に關する件
一、大阪帝大官制々定の件
一、大阪帝大官制々定の件

を認なる事は明かである、一方最 を記が最実国常選を留保しての膨脹 をが最実国常選を留保しての膨脹 をが最実国常選を留保しての膨脹 をが最実国に選を留保しての膨脹 變更せぬ

後三時代調印され内容候性はオランカの影機能呼激ぶら昨日午 はない、ブラジルもノルーエイもオランダに做ふであらうさ云ふが在支居留民はブラジルは二十名ノルーエイは三百名位に過ぎぬからそれ自體直接的影響がないであらう 投降件 機件

を述べ町田農村は農林省側の立場

施新家に進ふ外なしこの旨を非公 野妻鵬に於ても經歴外称者の安協 業者に移歴されたが、當 する二十三日の幣原外根、トラヤ 『東京二十四日教』漁業問題に関 けふ二次會見

れ正午散會した

政策の誤魔化 大養政友會總裁時局談一

市民運動會

六月七日に舉行

卸市場仲買人總會

昨日市役所で打合せ

大連購賣市場仲買入組合は二十四 日午後三時から蘇斯樓に続て忘時 他で次で六年度肇第の承認を求め續 で、大き、開催、昭和五年度決算報告 でして役談応避をならた紹彩組合長 同住前中は一氏、融組合長同住納氏重 でしての解に後載十二名を選が大

に関し幣原外根は二十四日の閣議 の廃上で 閣議、漁業交渉を協議

幣原外根に一低する事となった との意味を述べ今後の外交々迷を るものでないから外務21局にお ちに永引き漁期を失するにおい ちに永引き漁期を失するのである 糖益上に支障を來すものである から強ち三十一錢六厘を固執す から強ち三十一錢六厘を固執す 當業者も

妥協せん

砂糖會社は苦境 機能の事につ

本後三時より語學校に然(開會、 本後三時より語學校に然(開會、 本後三時より語學校に然(開會、 が東洋議覧吹 東公園町分會總會

の紫護院議員補候選擧は五月十二の紫護院議員補候選擧は五月十二 三氏が立候補 

東北代表

五一五

市場電報

これが行ふ留二十四日告示された 宮城補選期日

月一、○四七五一、○五二五月一、○八二五一、○八二五一、○八二五一、○八七五 月一、○八二五一、○八七五

職職のなかでは、 したが、町田、安滋・町田の各様は したが、町田、安滋・町田の各様は は、、安滋・町田の各様は は、、安滋・町田の各様は居 は、、安滋・町田の各様は居

現物 四五二二、九○ 常 際 二十二、二〇二二一、九○ 常 際 二十二、二〇二二一、九○ 常 際 二十、〇〇 三七、一〇 本 宗現物 一三、六五〇四 六二三一〇回 大二三一〇回 大二三一〇回

ついて開催の歌窓であった流鏡工務 は 関係の歌窓事項ル都語する工務委 できれること、なつたが多分五月上 部されること、なつたが多分五月上

式

程は直立でがいていました。中佐の傷に他の ・ただ風楽も此の時乗線魔章を成の ただ風楽も此の時乗線魔章を成の は直がました。中佐の傷に他の に対きれました。中佐の傷に他の がはないました。中佐の傷に他の がはないました。中佐の傷に他の がはないました。中佐の傷に他の がはないました。中佐の傷に他の

「技師長君、御承知の如く一昨

年の夏の始めに、我々二人は、

人様で手腕に信頼して、養和膨一人様でも一般だけでするに君の

日

五千年の普支那に夏こいふ國があった。夏の王禹は懇様と遊べが、彼は政殿の前にもれる聖人だが、彼は政殿の前に

を馬の蹄に掛て引った

革

命

治世四十四年を汚す

して「フランス萬歳」を高唱された投げつけられた時、恭然印春さ w しまってある。然しがくし、そく共 管際になりうさいふには、なく共 では、なく共 機治せざるここ」英國のそれの如 一世界は今や廿世紀である。総治 一世界は今や廿世紀である。総治 さなつてゐる。然し敬く 何時も苦がむす有様であったさい 他の宮廷政治にある。が際し、 青 と はころでアルフォンソ十三世が何 と ころでアルフォンソ十三世が何 と ころでアルフォンソ十三世が何

0

◇一九一三年四月 公の儀式よりのは 徒に狙撃され、 徒に狙撃され、

狙撃され、一彈は御乗馬にてドリッド市中ル運行中兇 ほころさ 一三年四月十三日 皇帝が

といふ二人連れが来て、が論こ も裏れそうに身の不悪を貰つて も裏れそうに身の不遇を貰つて

っな惨めな姿さなり、しかもこもは國家のため盡してあの

関があります。若しどうしても曖昧を宣傳するための色人な機

うなここをしてい、當方さしてなるがまさいふここを関
にはんこの綴ら

さいふ二人連れが來て、いかにの宅に日露戦後の召儺者である

○一九一一年一月五日 マラガに 於て皇帝

たて皇帝

た取園む

になった。 の際爆弾

た投げらる

で、日九日 バルセロハ年六月九日 バルセロ

が多くなりましたが、この間程 が多くなりましたが、この間程 本天 K 生

は政府さして相當います

は政府さして構造の手幣の最の報か

ならば知らず、内外人多數籍歴

する滿洲で國家の

ご参考までに

0 0

歐洲大戦送アルフォンソ十三世は 民意は卅年の昔から既にすでに こさな田がした」ちや墓に心郷 撃されてゐる。 

至り、シルヴエストル将軍は自

えず電網で職務をこつてあた。 様にたり、シルヴエストル料車を経て職が、シルヴエストル料車を経

た二三年九月廿日にスペイン議會 ・提出される像定であった。所が 三世は敷設を際止しずリモ・デ・ 一サガエラ勝軍の稼്熱な客談したの である。 が解の報告が議會に提出 である。排館の報告がいて入れられて了ったのは 

持たないこさである」で監禁を下れたる性質は其の修品が飛遠性を 原成及比藍に如何にして不要性を驚際問題としては、観黙像による 其の操作が短 カーボン法は

原板の保存 の不變性心臓管にす ト目使ひで

ならないと同時に、ハイボーは職があったらば、第一の定費が完全をであったならば、第一の定費が完全をであったならば、第一の定費が完全を対しているので、第一の定費が完全を対してから第二、新鉄な定費減 にはたつ水池を完全にしなければ ならない、 価して定着に用ひる変 は最く新鮮なるものでなければ らのでなければ らないの?」

カットがポ

して馬の善政と震歌し、歌族にはしてある。所が民は何れも鉄酸駅底である。所が民は何れも鉄酸駅底 は最も興味のある問題の一つであるないだけに一般寫真家に取って

さ老中佐は敗まつて私た呼びまし 

卅三株の行方

佐二郎

中華では、我々二人は蛇に戯り 大師長君、我々二人は蛇に戯り 大師長君、我々二人は蛇に戯り 一昨年の丁度今頭、我々二人が 君は戯は高れたから知れのが 君は戯は高れたから知れのが 君は或は高れたから知れのが 一時年の丁度今頭、我々二人が

さ程も軍隊式に形式能に返事をし

し、技術のは、大きなない、地の君に野であると、大きの一大きなない。大きなない、地の君に野であると、大きの一大きなない。大きなない。大きなない。大きなない。大きなない。大きなない。大きななが、大きなない。

て安しばかり無願の院坑 此の日の夕方、 て其の機會を利用し

ある。ある皮肉な藍癬地球象が、一般さるべき十分の慢値あるものでなるでき十分の慢値あるものでなるのの配位のの配位の場合 良い土産物を持つていた。 是非技師長の君に野して、是非 くや 聞るこさな

見てゐるやうな態な領接になった

いならないほご其の不動伝は不能 質なものである。 元本の職員は転続さしてよりも事 が必能録さして有償値なものであ なるさ云ふこさか腰は確信するないまたさが側、ないか念記されたが側。ないか念記されていると

のである……」
の四がもある深い窓の上の大きな四のである。
に主人の殿離の音楽・響きました。
たこて之を持目の通りに様に四ッに、次に縦に二つに持つて赤蛇の上の大きな四のであるがら繋がした。 り尚報分の後に於て完了されるも

への震性と定着作用はハイボー の震性と定着作用のスピードとの が設ければ最一種宏都作用のスピークの震災が一定の程度を越えるとかって、深いの程度を越えるとかいます。 定餐作用のスピー

ルさ云ふ無政府主教者が伊召邸車 ルさ云ふ無政府主教者が伊召邸車 の飛沫は皇帝皇后の頭上にまで降 り述いた。然も廿一畿の若い王は りばいた。然も廿一畿の若い王は 明本の動かさす、その艦周車から た一事によっても知られてゐる。 職された。威艦式に新艦の皇帝皇のトリア・ユーセニー王姓き御細のトリア・ユーセニー王姓き御細 を感像を正して進行中、モーラを乗せた馬車がカル・メイヤー 爆弾騒ぎのあつた翌年即5一は王が二十歳の時であった。 無いの選響は予が國民の就愛を失った。 単 を風靡するに至って初めて「今次 が燎原の火の勢びでスペイン全土 が燎原の火の勢びでスペイン全土 然るに自治體の概選等で民意が 然るに自然

められるこれごもは不必要なもと感じます、かうした人差に表ことには、何こもいへ口氣の審さ

けざらん歴度に、穀液の方法がたら、これ等の機関で、欠食のたち、これ等の機関で、欠食のからなくてあここが出来なかつ

講じて貰っないものでせうかけざらん程度に、前週の力温

ールを牀に滑らすエ

イ 革命畫報

一日午後パリーからロンドンに御鵄都遊ばされ、在英屋堪和インのマドリツドから汽車でパリーに入らせられ頭にこの廿去られたアルフオンソ十三世陛上は最近の外電によるとスペ共和蘇の騰利によつて御恵位遊はされ厳然こしてスペインを

イ アルフォンソ十三世がモロツコ高等旅務官に ルヴェストル勝軍、同時にペレン ゲル勝軍はモロツコ高等旅務官長シ

に起かれた陛下(左)さ今は前内橋さなつたロマノネフ信(右)なの整臓が違つてあることも歌想せられず、マドリッドの)受験の整臓が違つてあることも歌想せられず、マドリッドの)受験のをできる。 はまる三月中館、牧ケ月後にこの御経ましき密 

では、 では、 では、 では、 では、 のない、よのが、問知の事質である。 そこで此の弊害な一掃し、 そこで此の弊害な一掃し、 そこで此のが問知の事質である。 寫眞畵像の保存 ある。その結果アニュアル事代調 ある。その結果アニュアル事代調 十三世は監等と、 東大な関数を全く無駄にして すった。然るに監のアルフォンソーナニ世は監察とのアルフォンソーナニー でつた。然るに驚のアルフォンソート三世は管時北フランスの遊い場 人に聴墜まれて、筋 どの殴りを塞 人に聴墜まれて、筋 どの殴りを塞 もてるたさいふのだから國治 は要するに原版に不要性があってがよろ解び加減で養子として、本したならば、其の線膜に生じた「どうしたのよ、がは多いの実験事件によれが、然しそんな事は、またが、然しそんな事は、またが、然しそんな事は、またが、然しそんな事は、またが、然しそんな事は、また、ない。ないであって、者し原版の歌像と込んで楽れが、チョ場が撮影によって、者し原版の歌像と込んで楽れが、チョッのことであって、者し原版の歌像と込んで楽れが、チョッのことであって、者し原版の歌像と込んで楽れが、チョッのことであっている。

**橋潟真を見て「藝術祭真の** ある鶏真の展覧會に出品さ で る。この二つのが法によればいい。 本際に継ば不整性のものさなり、 本際に対域にする勝り、その新像に水流である。 然に消滅しない器である。 の現時の一般アマチユアのたより

不變性に關する問題

村美

樹

いかる 監察を はんごて 受けなけれ サセッションを奥へ得るであらうでの大に述べたが法は為に保存上が

もの、あんなマ 云つた風に曲 トゥ・コア」

ザョンニイ に心の動揺が 髪娘の数な

でん能って来する。 できり 女の子に言った。二人は組んで職の 一変子は最も手近な神獣な金髪の 

その時暦子は急に氣がつい

賞衣 裳 紫霞川 日底町 きかのや電五川三七番 ・ 本のの電五川三七番 ・ 大 谷 商 店 歴紙 懐中に家庭同議用の生産 大連市磐城町五八 南海堂眉山 大連市磐城町五八 南海堂眉山

おいていているからさしてある事は、いたいへんなものなのだ。それがごうもデョンニイ薬には脅威でもある。現にもう総職でもある。今日ある二三日前の野薬さは父メンバルのなるのである。今日のなるにしなくなつてあるのである。今日のなるここ日前の野薬さは父メンバルのないのである。今日のないのである。今日のないのである。今日のないのである。今日のないのである。今日のないのである。 「難りませう」 アの違った 電気が暗くなつた。――アルースした時、音樂がチャンと始まつてもた時、音樂がチャンと始まつて 顔ぶれである。 此處の節子さ一 

第8 の御用命は 電話五四三九番 白帆高級お代粧紙は 此印に限るが使紙は 邦文印を 雜

日本模院大連支部電話八六七五三河町 地內 電八六七五三河町 地內 電八六七五三河町 門札が関ラ物へ 管字

牛乳 十乳 \*洲牧益 大連牛乳株式會社 電話六一三四年

山久保治一(A 高口雅人(巻・)回郡。 石橋あい子、唐島 屋底 久太郎(金州)三三 須不二子(こ

夢 (35)

内以行十五 迎歡書投 すらさは傷中

変に がるが、こんな 重に がくられた卓子さ でいて、大手さ、壁に沿って でいて、大手さ、壁に沿って でいて、大手さ、壁に沿って でいて、大手さ、壁に沿って 五人のチャチなロシャなな製た身によさつてなる製造職の獅子なのは金製書職の獅子ないのチャチなロシャ 人生の舞踏 やう。ほんの さばかり高

・マリーン に標手を 手を 手を 手を 

邦文 知期養成 小林又七支店 大連大山道 小林又七支店

電話八二〇三番 《長春》塚原好純〈安東縣〉佐々木宴〈本溪湖〉柳田精三〈護順〉角田 スエ子〈奉天〉福原一雄〈太平山〉相馬〉、『大藤」、『神神寺、前田帝子、徳村寺成、前田衛子、佐を木野子、御田寺、神田衛子、佐を木野子、前田帝子、前田帝吉、栗原治夫、山口原子、「西田寺、山中房子、前田帝吉、栗原治夫、山口東美子、岡山は、京野子、大村ツャ子、伊藤久嘉宗美子、梅津達、津田あい、藤井昇、平山ふで、緒方京治、杉野壽美子、木村ツャ子、伊泉門、田中房子、前田帝吉、栗原治夫、山口県美子、岡山は、京野子、大村ツャ子、伊藤久嘉宗美子、本神ツキ・前田帝吉、栗原治夫、山口県美子、岡山は、京野子、大村ツャ子、伊藤久嘉宗美子、山本傍姫、岩島イソナ、吉谷キョ、上河邊宮士子、山口好寺、田中清春、西村アイ、春月足百歳、佐田彦族、常田寺、神田帝子、佐を木春子、藤井二郎、岡溪子、福岡寺。エ、春原童信、佐藤太郎、大郎町、山本傍姫、宮澤宮子、藤森子枝子、櫻庭さみ子、岡田寺、江、中村・エ子、平本銀子、山本傍姫、宮澤宮子、藤森子枝子、櫻庭さみ子、岡田寺、北村ツ・子、伊藤久嘉本子、山本傍姫、宮澤宮子、藤田寺美子、木村ツャ子、伊藤久嘉寺、山本傍姫、宮澤宮子、藤森子枝子、櫻庭さか子、岡田善四郎、島田喜美子、大藤八重子、米銀子、山本傍姫、宮澤宮子、藤森千枝子、櫻庭さんに御道、東田寺、大田濱、三井田命子、大藤八重子、米田濱、三井田命子、大石ふみ子、佐野子蔵、祗村吉男

年

マヤ人の音樂師 かったちが色彩版 かったちが色彩版 

女中 数名入用 天満屋ホテル 電七一五五

太郎・電話四六九二番大連二葉町六〇

(壹百名) 賞品

電話四六九二番 電話四六九二番

モミ 療治お望みの方は 中順天堂 電1111〇九番 新鮮總督府官製

印刷と寫真

東那服の準備有日本機際 電話三五八四番

● 三行回 金 九 拾 錄 ● 五行回 金 齊 圖五拾録 ● 十五行回 金 夢 圖●十五行回 金 夢 圖●十五行回 金 一面五拾録 ● 1十七百回 金 一面五拾録 ● 1十七百回 金 二十七百 金 二拾 錄 電子在記述回 満日案内 フョ フキ町 新古寮 電七四三五 日品高價質受

(五名)

賞品 組合せ文房具一組宛

資等

(十名) 賞品 組合せ文房具一組宛

連市沙河口京町六七

大連市
勢城町四八坂下方

樺太豐原町大通南二ノ二佐藤方

岩松佐中森

川 永山藤澤瀨

大連市資町十四番地三ノ三大連市資町十四番地三ノ三大連市文化峯一〇四

香木山島畑前坪富津白

二雄男和男郎彦一博仲

川下崎村瀨

育膓 病ハ

**野町一萬堂 電話七八五九番** 

移 轉 河島小児科警院 西公園町五五常盤小學校正門前 大連吉野町六 電太三一一 大連吉野町六 電大三一一

長蓮係一名(中等学校) 木工見智十五造以上御希望者 本人並保證人來談あれ 大連市西崗街三三六

|百八十六名の幸運者

名)

大連市紀伊町二九ノ五 賞品 組合也文房具一組

事館 した、際は南水さんに動らすくれま

根職等力を以て經濟脈に出職せんである。駅して震災は世界各市場をの

の成立部人が握ってゐる、だが唯一の成立部人が握ってゐる、だが唯一の成立部人が握ってゐる、だが唯一の成立部人が握ってゐる、だが唯一

一体をあげれば勢農政府で現在大心から信であるのは一人もない、

を識り左傾者の末時を識り左傾者の末時

七割の連貫をして

です。それでも選がち清水飯

アマチュアの

生

高

赤に魅惑を感するもの

赤を知らぬも

0

る間の私生

たる時は前條定期安全日以外一條、各支部長に於て必要さ認っ

五月十日を期し

電に佐り燃育の機能される、在無記者 ・ 関に同大會管療係の中壁さなった。 ・ 関に同大會管療係の中壁さなった。 ・ 関に向大會管療係の中壁さなった。 ・ 大きによった。 ・ 大きになる。 ・ 大きに

一石濤展覧會に シイラ供養

一地から程、聖、秋にかけ入場者へ地から程、聖、秋にかけ入場者へ をした戦みるべく、その第一回か来 した戦みるべく、その第一回か来 した戦みるべく、その第一回か来 は、他から春、夏、秋にかけ入場者へ で、その第一回か来

されただけに道行艦

たる生活た 上で大門徐邁 上で大門徐邁

た。その風潮

人内外だ。その内八割はエロ探紋邦人観光順五年度の如きまづ五千 者で真に哈爾領を政治的に經濟的

は避け離い事であるかも知れのは、ユートピナ的新い思想にかぶれ場にからるのは思性的。 この はいきの多があるのは思性的。 この でんればい はいきの多があるのは思性的。 この でんればい はから はいきのを から知れる

長襦袢から足がつく 廻る

人は赤紫に繋し抜くべからざる反 と、その他にも赤窓は経路にあるを命かを帯びてある者も脳管あるを帯びてある者も脳管ある の性活たるや無像以上

官吏の名稱で 窃取一

二十六、オデヤミ(女)=二個のオー・るも定められたる札所に規定の接待を受けて一巡するもの接待を受けて一巡するもの 

カラしょのしますてきた。 神がは、前半によるこれ水の零渾河の流れが押しかける地ないでは、 年に五百萬作り一個につき二厘年に五百萬作り一個につき二厘の利益ありさして一点個である地ないでである。 がてやつき、資金だけ得られ、それにで、一個につき一層力では、 でその後引續き期待通り行くかで、 でその後引續き期待通り行くかで、 でその後引續き期待通り行くかで、 でその後引續き期待通り行くかで、 でその後引續き期待通り行くかで、 でその後引續き期待通り行くかで、 でその後引續き期待通り行くかで、 でその後引續されが課でであるかで、 でであるかであるなが、 に関重に研究する絵地があるからことはつてんに對抗的に水平持 を表して、たいに関連であるからことはであるが

日南清勲郷後活問題に関ニ線成戦物が「西南清勲郷後活問題に関ニ線成戦物では左の如く語つたは左の如く語つた。夏穂を関き復活問題の協議をなすさ共に一部定数解の慶更をなるため使用料を支持はなければ、夏穂寺に使ばれぬ、支持内への割込料は食社の関連ななってるまった。夏穂寺に使ばれな、文構内の空地を利用された。夏徳寺はなければ、夏徳寺はなければ、夏徳寺はなければ、夏徳寺はなりであるため使用料を支持はなりであるためであるためであるためである。 滿日讀者に限り 幻想戰史映畵 特等 後

四月二十五、六日雨夜限り 三 四 十 十 錢 錢

帝國軍事普及會 和

滿洲日報旅順支社

普通料金

等

五七

銭 銭

リンピック競技、フキルム其他のリンピック競技、フキルム其他の スポーツ熱の正にクライマツク

を競技の推称、興味あるゴシッ を発験技の推称、興味あるゴシッ

體育週間ご體育の夕 を語る事さなつたその打合會は二 プ五月四日より十日までの一濃度

来たが目に立つて二十一日返に正一て運動覚の數も著るしく増加して

晨商

儲蓄會解散

銀安ご不況に祟れて

と上げ永續とたるもの

蘇家屯の需要で

● The state of the state of

連榮(熊岳城)月玉戍(松樹)王日本第二部中國人、周樹様(繳(議)費

宮崎定(安東)李福珠(大連)平山高橋安一(鐵續)山高轉記(大連

館内域がのは様がへも既に八分通 をだよりに断然トップを切った旅

**博物館の特別催し物** 

は容易に関きず食金の本が十三年からの容思 散を決議し数 票施落さ擔保利用されてゐ の快度な待つ を含れ続ってる 

献が配への費 觀櫻客の割引

日前より解散事務た開始した 意課では大連、旅順、安東

二十一、面書=筆數六筆員・早く 一十一、瓶運び=方一尺の盆の上 にピール瓶た立てト乗せ後ろに 手を縛ら四隅から系を首にかけ 二十四、盆曳=洗面器にゴム風船 離た早く通過し出る者を勝者と出る者を勝者と

窯業界活氣づく

中には工場設置計畫 を受けるのは漫水である蘇家屯 文案業會社さして自然の大打撃 た 深刻 される 否か た 財 が される でか なければなら の それで 思い切っ

深山重砲兵聯隊第二師團總出動

第四師團應援出動 重砲五十

二十日より二十三日迄年前七時より電機が無熱が行ったが入賞者次の処し

ぬる其の中に在って!

れが大君の大君の

製料に動ったまって現代人の機能を除った。 製料に多大の監験をならついある。 によって現代人の機能

人のな性運

職工に糧食給與

映畵戰友

今日か

ら公開

目を恋いてゐる

柞蠶工場の動搖か

5

日より

五年度公費決算

十五萬八千九百餘圓

◆…法庫門における我警察官吏派 出所を撤去すべしなご、支那郎 出所を撤去すべしなご、支那郎

红い夕日

田原

(四)

年全年

を通じ

順

主炭礦の安全運動

科學的にして實際的方法につき

**麥員會で大綱決定** 

職交のもある、関に存機製音を受いました。 ・関係でしその取締に注意してある。 を選の手織」が舞込み當人は勿論 を選の手織」が舞込み當人は勿論 でしるの取締に注意してある。 は、東さん等の差別なく傾の「 は、東さん等の差別なく傾の「 は、東さん等の差別なく傾の「 は、東さん等の差別なく傾の「 は、東さん等の差別なく傾の「 は、東さん等の差別なく傾の「 は、東さん等の差別なく傾の「 は、東さん等の差別なく傾の「 幸運の手紙 また流行り出す

に喧嚣推翻されてゐる。

は石竈の仲配さしては

四種の内臓は二十三日完了したがその大 大りない。 大りない。 大りない。 大りない。 は二十三日完了したがその大 ない。 は一十三日完了したがその大 ない。 は一十三日完了したがその大 ない。 は一十三日完了したがその大

合 計 一五八、九二四、六五 唯 時 費 二、九二三、四七

てゐないさ【奉天】

支那側當局は本溪湖の縣立鎮

他な恋の作品を所持

は麓日の関甲子郎

大変によりでは、 をできなが、 をできなが、 はいかが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいで、 に

なく 大変晴らし 文文素晴らし

で、は河圏の何百里、離れて遠い、一等五十銭を四十銭の三十銭

月

は不可放力に使る以外の過ぎは変しれるものと動られてある同規

無順解祭でけ事める秋に備へる為しさ

警察射擊會

の三つな實施すべ

採炭所各個所に洩れ (全支部一齊に行ふ)

輸組特賣デ 味を乗へること受合ひ

た放送

さてで石織

吉林デー當日の

吉

運動會競技種目

係員協議決定す

勤續者表彰

愛護デール来る五月五日時開催の 愛護デール来る五月五日時開催の

兒童愛護デー

人注に應じ得す

製材工場は焦慮氣味

か行ひ、徹奇的趣向な

デヤミな片手にてあやごり長く 一二十七、速成綱曳=希望者を抽籤 に依りて二組に分ちて競技せら む こ十八、鳳體對抗優勝襲技=別に

第田後郎、永澄常伊の三氏が表彰 ・ 大五年肺緩社・大変を一封を贈って表彰せるが常開原 ・ 金一封を贈って表彰せるが常開原 ・ 大変をでいる。 ・ 大変をできるが常開度を表彰状並に ・ 大変をできるが常開度を表彰状ができます。

されたさ

▲ 松波法學博士夫妻 二十三日安 奉線急行にて來奉同日北行歐洲

實習所新入生

施大に歌艦・10年 一は来る廿六日安東俱楽部に於 一は来る廿六日安東俱楽部に於

府議戰

外観心に関するが続くの如き催しは 対象をいるでは常日五名の美しい あらいが、これでは、 はなって居るが続くの如き催して ないって居るが続くの如き催して ないって居るが続くの如き催して 態ル以て吹誇ってる。 訪ねるものは村人のみだが を終らして一分である が表は熱ない。 がある。 子の

**新養州府議戦は去る十八日以來す** 

今や杏花の真ツ盛り

嶺

全総人九名記二十五名にして定覧 るが内地側より野原、大館、原の 三氏鉄人雕より金楽溪、猫尤服の 三氏鉄人雕より金彩溪、猫尤服の

(後一時より同社内に於て第三十五 一個定時株主機會を開催) 一個定時本主機會を開催) 一個定時本生機會を開催) 一個定時本生機會を開催) 一個定時本生機會を開催) 一個定時本生態を開催) 一個定時本生態を開催) 一個定時本生態を開催) 一個定時本生態を開催) 一個定時本生態を開催 開原電氣會社にては來る三十

開原電氣總會 原

1 /ツクシ家人が懸答に出るさ日本日本の状態を記して所伝を導行して其場を逃れるでも見ればし入して手になると出終目か言って工場を逃れるでもればし入し 

◆練田滿總屬託 二十三日過率 連

日夜過季赴連 ■ 日夜過季赴連 日途陽より來率 ● 高木率天守備隊長 二十三 日途陽より來率 ● 高木率天守備隊長 二十三 「石臺へ 本 一 本 天 警長 二十三 日 成 前 本 天 等 長 二十三 日 成 前 本 天 等 長 二十三 日 成 前 本 天 等 長 二十三 日 広順よ ▲鈴木梅太郎博士(東大教授) 二 來奉 ▲古川長春運輸事務所長 二十二 より來奉同日五龍青へ二十三日森守備隊司令官二十二日撫順 二 勇(遼陽)佐々木崎(撫順)武永得 治(鐵嶺) 水上欄五匹(大連) 同是過(海龍) 水上欄五匹(大連) 同是過(海龍)

本第一部日本人、玉利爲原(人連) 山本孝作(奉天)赤澤房一(本 大) 速陽商業實習所では十九、 に互対第三期生の入所選技式に互対第三期生の入所選技式

はまだ鮮銀この職務整理が高合となったが運動されるやうであるが恰度應谷取締役が上京中のため拓務、大蔵阿常局に對常方面に關係の深い原修次郎氏然る處内閣の更迭に遭つたが製が拓相さなり会社のためには却つて有利さなつた課であるがられるやうであっが同氏、奉の節け相高収穫があるものに対けてあるからよイそれところ。 復活は行くまいが運かれ早か、復活は行くまいが運かれ早か、復活は行くまいが運かれ早か、復活は行くまいが運かれている。 大長都常日潔陽領事館では午前九 た響行と午後六時から中時送物施、祭課費式 を響行と午後六時から前長多數を 据いて繋飛寒な離すこのここであ が此のが 会前民合同の奉収祭は午前九時から 本が此のが 会前民合同の奉収祭は午前九時から 本が此のが 本が此のが を 本が此のが を 本が此のが を 本がよりで十一時から 本に於て撃行に付出席希望者は 地方事務所、会質金五十銭を添 か由込いたここ

天長節の奉祀 遼 陽

地方の多數原住せる(戦人部落に地方の多數原住せる(戦人部落に)とて、これを戦略して、 一部なり、 一をしまり、 一をしまり た必要さし證書を所持しては 会した、既に柳下、撫順、興京を公安局から各縣公安分局に佈 がまた間接路には戦人の驅逐策でつの財源さするためにもある のは、在留を禁止了 さも見られるのである〇本天し に旨の内命 しない

选券持營署に限5特等四十錢一等三十錢 此券持營署に限5特等四十錢一等三十錢 映畵「戰友」の觀賞

讀者優待割引券 後邊滿洲日報旅順支社此券持參者に限り特等四十錢一等三十錢 映畵「戰友」の觀賞 理想のお婚さ

婚期が大へ 年齢があまり除たれて監然と想に 人立ちが出 の世界能恐慢の時代に、經濟能に 人立ちが出 の世界能恐慢の時代に、經濟能に から娘を今 不安な年暮な人にも嫁にやれね。 とちょつさ に態度)ぎた だ

矢張り

や父様のお職務がら

中等校の先生へ

不景氣時ごて月給取りが一番

西内順子さんのお母様の望み

一通り一道をつけて置

類の眼から見まずご未だ/ \対域さんになれさうもございません、でも實際は今の娘さんの方が案外ませてるんぢやありませらかかを外ませてるんぢやありませられかしら?子供だ子供ださ思つせるかしら?子供だ子供ださ思つせるかが、まずまではしたりする事がです。

ない。根常は教養のある城なら事ないて必要に強られたら結婚してかければ城の機が幾つあつても足りない。根常は教養のある城なら事ない。根常は教養のある城なら事ない。根常は教養のある城なら事ない。根常は教養のある城なら事

| 男の方| から云ふとなったけ若いお嫁さんの方が素直で可愛らしくていゝからしれませんけれざ、お人形みたいに取あつかはれてよるこんだ昔の女もつかなれてよるこんだ昔の女

日

ルドクリームをよくすりこんでを落しそのあさへ響変になるコ

窓らて時々県の四でも他粉直したっても程度で結構でせう。以上は学っても経験では、

お試み下さいミユーゲ卷 明れた方なら三分か五分もかゝれ は結べますし、消臭は縦と鏡セン ります。遊毛や梳き形を用ひませ んから大懸骸快で、しかも結上り は清楚で若い方にも中年の方にも

◆相 談係 宛

子宮の洗滌





AO 結核、理想的 肺結核、初 晶デアル で有馬、青山、太難 で有馬、青山、太難

AO、肺結核、中期

ごなたの肌にも

AO 骨關節結 眼科的 副睾丸結核 **腺病ルイレ** 結核

肋膜 核 腹膜 發 結 核

不快 反

AO 世界

W.4

豆白粉

を活 0 自 然

美 御 人は 愛用家 園の ?

等ハリ 大連市渡速所五丁目二百一番 下水・川東海(中) 大連市渡速所五丁目二百一番 下水・川東海(中) 東東海(中) 東南海(中) 東南南(中) 東南南(中) 東南南(中) 東南南(中) 東南(中) 東南(中)

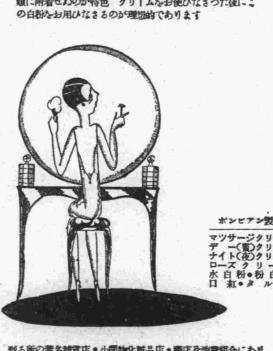
犬印に限る

養榮に同と乳母てつ補を分成のクルミナコキ乳中 すで品需必の養榮工人 すでのもるすた

pompeian ポンピアン化粧品

ポンピアン ホワイト

こゝに美人となる唯一の化粧料ポンピアンホワイ トがあります 早や化粧用 濃化粧用さらて最適 襟や衣 類に附着せいのが特色 クリームをお使いなさった後にこ の白粉をお用いなさるのが理想的であります



マツサージクリーム デー(電)クリームナイト(夜)クリームレーズクリーム水白粉・粉日 和・タルク

到る所の著名雜貨店・小間物化粧品店・築店及消費組合にあり ボンヒアン會社議州提代理店 大連私書函百二十二號

中龍田町一〇三中龍田町一〇三十九 新聞の隣護御申込み其他電話

(夜間及休日) 二四 七六七番

ハイリマセンヨー

ユ (四十三) 次

日

ガラ ツツミ ヲ ヒライタ =

上品

d

日本髪の方なら少し濃い目に

間單な顔のお拵へ

一戦に出來てしか

外出向の洋髪

はいる。 「ならすべてを濃い目にお人形式に がの薄い明るい色、中年の方には、ならすべてを濃い目にお人形式に かの薄い明るい色、中年の方には、ならすべてを濃い目にお人形式に

ますので淡化粧ださ

髪の方が軽快で

世界で一番美味しい 不久に味の変らかい 新進ノ調味料 純質の香の良い 發明品 食の元 義野塩館

社會式株產物本日

るれは現でも何如

日

…租崇神数=直義卯徳工羅旅 ▲進度 ー 3 说 3 国愛…

满

第三篇教

有

田音松

伊藤彦造畵

り立派

幕府を倒

子と孫

泡沫政黨の政權爭奪戰

# 是 命 法



本 知さ、一キログラム時間二千五百円と、一キログラム時間二千五百円と、一キログラム時間二千五百円と、一キ 高着合する良乗である。 即ち此の一葉の取る所が、便秘する人は腹運動を促進して 日本 の、消化を良くし、受養の吸収住良となり、 信報がに便通整ひ、又下痢する症状に 性 ぶつて粘液便の出る人、患臭の匠の出る人、 異常醫酵や 傷然が至かないで氣労の勝れぬ人なども規則的 に確状又は固形の黄色快便が出、無臭の大砲 となって、腹部門断に、 異常醫酵や 傷然をがら、心気燥快となる。 從つて食愁を進して でながら、心気燥快となる。 従って食愁を進して は本的に身躯を壯健にし、大いに若返り長齢 となっず化を良くし、受養の吸収住良となり、 たいに者返り長齢 となって、腹部門断に、 異常醫酵や 傷がでから、 河化を良くし、受養の吸収住良となり、 たいに者返り長齢 となって、腹部門断に、 第里音加い 大いに者返り長齢 となって、腹部門断に、 第里音加い 大いに者返り長齢 となって、腹部門が上ればする人、 思見の世間がある。 第一年 1000円 100

の有田ドラツグ所在地にてお買取あれ店に 販 震を許さず

この文字あるものを

御買取るれ

街

『有田音松鑑製』

「有

田

ラッグ」

大人十六日分を四週間に分趾し総販で供話に恰唐君木の成長す 家の嫁さんもこの家の息子さんも 大人十六日分を四週間に分趾し総販で供話に恰唐君木の成長す 家の嫁さんもこの家の息子さんも 大人十六日分を四週間に分趾した。現在愉快に通少してあるのか、たらと ちょんば日ごろの元 かせて買つて見ると最早起ふ余地 を見るにつけ、今更ながら有田繁でを供したと 娘切 に関した。現在愉快に通少してあるのか、たらと つた時は元通りの微膨艦となります。 ない、際叫低郡北小祠宮原 として、現在愉快に通少してあるのかに歌く天第です。 とい、際叫低郡北小祠宮原 として、現在愉快に通少してあるのからない。 とい、際叫低郡北小祠宮原 として、現在愉快に通少してあるのからない。 とい、際叫低郡北小祠宮原 として、現在愉快に通少してあるのからない。

安

東

場通

家甸

結核病治療法 私の子供の全快するまで

を存出にできるのでない事を融して を有田にできる人日分づく買求 め、有田式養生法を行ひつく服験 め、有田式養生法を行ひつく服験 食事も見違へる程益る様になり、下り一週間後には水もなくなり、

りあ者正不る資をに抵棄に並箱藥 發實元 東京日本橋通三

本 舖 大阪內本町二

御買取の際左の文字なき物はニを物なり

手段として左記有田ドラッグ專賣所へ御來談あれあらゆる治療法を講ずるも効なき患者は最後の

りん病が八日分八四

映滅するに至る。一日も早く本剤を服用し、全快の暮を得られよ。●打捨て置けば一身を亡ばすのみならず病毒は子孫に遺像し一家を三期の重証にも脱用直に効果剝れ、治臓の目的を迷かに遂す。=コネは切らずに、カンソ其他梅様一切、殊に二期

で苦しむ人、冷性の人、どうしても子類の田來ぬ人、又夫が淋漓、梅毒に確つたことのある方で、若しや感染でもしたのではないかとした感染でもしたのではないかとしたのではないかとしてあられる方は、鬼に角一度有田ドラツグへ御相談にお越し

薬 合 ばい毒薬

等にて實揚記載すられ、向内務省 本配都した責任默都だからである 今や我が有田ドラツグはその名 今や我が有田ドラツグはその名 等遠く歐米にまで載くに登つた我 な配都した責任默都だからである。そ 婦人の消湯

帝國醫科大學病院

州みも去りウミも止る

いて戦する

有効なる立個な證據である。

## 有 田

音

頁族院議員子爵

(四十三歲)

3

E

拜復

小生平素腸胃の疾患に苦しみ居候

小路定行閣下書翰

處今回御惠贈の南山仙服用以來頓に健 康快復致し全く靈薬の賜と深く感謝致居

瞪

**犠且延引ながら紙上を以て厚く御** 

敬具

路定行

下閣元成井大

同病者に知らせるのは

至快者の責務

第である。

だてゐる、又知人の は如何にも冒險の樣 は如何にも冒險の樣

**秋** 繁山本郡荷上獨村字關口

平寛我が留會の薬剤が非常に有効がで、臓病ろくまく炎の最良の疾激が非常に有効がで、臓病ろくまく炎の最良の疾激ががで、臓病のをある。然るに悪命の製剤は、西洋化野乳で持て余して居る難病が低が放に全快するかと云ふと、が傾が放に全快するかと云ふと、が傾が放に全快するかと云ふと、が傾が放に全快するかと云ふと、が傾が放に全快するかと云ふと、が傾が放に全快するかと云ふと、が傾が放に全快するかと云ふと、が傾が放に全快するかと云ふと、が傾が放に全快するかと云ふと、が傾が放に全快するかと云ふと、が傾が放ことを追ぶである。

に同はしむ。 に同数重に特数の治臓薬には今回新に一 続に所数重に特数の治臓薬には今回新に一 がに所数重に特数の治臓薬には今回新に一

だけ血さるの内さるる

ぜんそく病 請合藥五 請合樂四

腦 臟 病病病 ħ

請台樂

製鑑松音田有藥 効 有任 資

の早い

夏の

もうカン

帽賣出し

倒つて昨年よりは一割五分以上も安くなつてあるからやがては七十錢五十錢の城一ものも出いの五六圓から小麥の二圓代見當、夢通品は例によつて一圓城一が全盛らしい。物質下寮に

七

百九千八

13A

艦關東州野球大會等五日

石翼の失さ宮武 入らす▲國際石 展際木下投手因

一戦したが巡に十三人野八で破れる (工大)004 00 8

(國際) 040

1004400 4051012A 4051012A 51012A 7、後愛甲遊越テ サスとたゞけ

上大善戰し

# 廳令原議變造問題

氏の聴言に依り酸然重大化も窓の形では、大の聴言に依り酸素を大化も窓のでは、 大の聴言に依り酸が悪ないでないが、 大いでは、 いいでは、 いいで こ同時連日関東殿官吏の召喚取る同時連日関東殿官吏の召喚取るに至り近森氏の収容 調べた行ってゐるが檢察局では

時に至るも池内、高井、剛三檢察分間に重り正課問題につき間檢察局午後十官が取調べた行つた檢察局午後十官が取調べた行つた檢察局午後十官が取調である。 を測はせてるた 議を凝らし物々しいまでの緊張味噌等は迷聴せず解事からきりに密

本長官發聲にて帝國陸軍の萬畿を

配に基づきこの點を明かにすべ 課長川合又一氏の意

關東廳方面の

取調に

高井檢察官が赴旅

東歐 関係者の取調べは際令公布の つてベンソリン事性から新に派生 つてベンソリン事性から新に派生 を記しませる監部によ

華工の要求を容れて

**福昌で賃銀値上** 

べの遊展はいよく「東大視されるに至った(寫真は川合氏)することゝなつた、地合氏の召喚は疑惑に包まれてゐる驟念。地合义一氏に對し電報を以て至意出瞋するやう召喚命令を發 増田金州民政署長を

## 中村兩氏は歸宅 四日午後一時自動車で急遽赴底、四日午後一時自動車で急遽赴底。 関東職に現れ常生及び交書開保の官 関東職に現れ常生及び交書開保の官

て喚問す

### 中谷警務局長の談に對し

り同原語製造問題は大體明かにさ

時速東ホテルに於て左の一般では表し二十四 する司法協議 大田黑氏から聲明 世の正義を確保す

局長こそ

業及補供の後援代

問題は奉大さし

ラブな組織し後援することになれ 俱を打つて一丸さした零天野球クガに低するさいふので苦の質素滿

記息の結婚にも新敬酒。 東地の旅行には一本。

野 (國際)

年會を飲み明かさうさ

職員義工會社の華工一萬二千名は を でいたり苦り頭百數十名の決議に にいたり苦り頭百數十名の決議に にいたり苦り頭百數十名の決議に とり要求條件廿數條を以て待遇改 とり要求條件廿數條を以て待遇改 とりである。

策動せぬ 工側では

代表者さマネーザ 俱を打つて一丸さした軽大野球クスで満競公所長、 参加するさなれば満負だけでは一人で満競公所長、 参加するさなれば満負だけでは一人で満競公所長、 参加するさなれば満負だけでは一

税金や銀拂

市對抗出場か

滿俱と實業との合同説が

愈よ具體化し來る

の問題は別に華工側が運動が

□ 学議は其の後不穩の形勢にあつ 上に然て職催する ・ 日午前十時より大連融工會議所標 ・ 日午前十時より大連融工會議所標 日米交驩放送 番組決定す

《東京二十四日發』ジエー・オー 日本からは和洋 放送後出淵大使の紹介に次で國三十分迄最初君ケ代及び音樂を

電が ・シー間にて決定された日米交 ・シー間にて決定された日米交 ・・シー間にで決定された日米交 ム及び時間は次の蛇く決定二十四 はれるが、其のプログラ 午後十時三十分より

午後十時十五分より一院が間の意識を日本義された 日本語に翻譯して

おり な験馬山に入って駐戦な結尾をな 洋 しらつた古典競響に新しい合奏繁 決 が表を着せた新しいハーモニーを かなを着せた新しいハーモニーを かったのである

合を行ふこさができるさいふに一 やうさの脱さへ出た感激で、オー やうさの脱さへ出た感激で、オー ル率天野球倶樂部は放々具機化さ れることになつた。 飲々都市警戒 れることになった。 飲々都市警戒

家 決の言談とがあった、即す な決の言談とがあった、即す が定を見た

ひで計算

プール開場の

時より午後六時まで)開場されるり六時まで(日曜日に限り午前九 横井部長追悼 昨年春鞍

除名な 標名な 標準した 官B 関いて、事能に

鶏 月號

致兄 振替東京セル 鷄の研究社

グリヤ さ一河 の方は郵券二銭封入申込み下さい無代送品が一分があるのがは「乗」を

酒渍

是小淺白おぬ は鯛草魚ぼか

ま佃の佃昆の

い煮り煮布素

うの

豆漬ミれ

のろ漬

8

本各地名産.

履物店

窜

東京風菓子謹製

界各國

食

00

大連大山通

卅五錢無機▼十ヶ年四

上等。世次イ宝の珊瑚 満鮮視察團歓迎の為 9 **貴金属麻雀紫檀細**互 澤山到着 •

中市長に一本、多年の職業を除いた本、関東州野職大會始職式

決して旅館かう

せられた影金は、中郷東拓を所でつひ二三日前の火曜會で

貴金屬、麻雀、紫檀細工事に商ヒスイ、寳石、珊瑚 衙曰特賣提 大連市浪速町三丁目

打打壘振球失安德盗三四過

鐵道對大商

来記憶不得監さの様により都能 か一般が問題さなり電論で数の結 オーバーが盗難に遭った其難供 か一般が問題さなり電論で大大難供 が関連さなり電論で映の結

◆高鐵消費組合對画際運輸 の正午より)

の何沙汰に村井、山口。唯一本づいの郡金に課すぞと

旅順交代兵 歡送迎會 昭和園の盛宴

東京・東京 (東京) 大阪 (東京) 大 襲ひ関闘

旅館協會總會

取り調べ中である を強い双方多数 文大憲中の海上暴風雨描寫に起りは、鞍馬山の三から旋律を執り先づ紀」オ

かられる厳密で、この郷伽金さへ の會覧あり、若しこれが合性して は延長され一千名さなる見込あり は延長され一千名さなる見込あり

あれば一ヶ年十三、四回の野珠武

台を行ふこさができ

訪れ 履カス 表附下駄 七十銭 七十銭

七十錢より

カスミ履 スター履 ダンス 履 大 特 價七十錢より パナマ表 天表重草履 キング履-五錢より 絹張日傘大特價提供 上等タビ二足 三十箋です ◇見切品は半額提供の物も澤山有ります

二十五日より

新品全部の思ひ切り大安賣を致します

キツト御浦足を得

業には数三百数十名のクラブは現在諸俱には数四百百餘名、

廣告祭

品附

お花見運動會のお辨當は

特にお安〜御引受け申します

御散策の御歸りには食堂の御利用を

大 五月人形大賣出へ大連一の安い店 浪 速町 ほ 電八五〇九・八七五六

田店 電話カロニ六番電話カロニ六番

言語というというないできることできることにいい 生安心なる=新職業

